

おおくらだより

平成30年7月20日 発行責任 校長 藤井 英貴

★ 学校ホームページ : <http://www.kita9.ed.jp/okura-e/>

さあ、夏休みだ！！～がんばった、1学期

台風と大雨で2日も臨時休校になった1学期も、酷暑真っ最中の今日、無事に終わりました。体育館に並んだ子どもたちの顔は、始業式、入学式の時とは全くちがひ、本当にたくましくなりました。わずか3ヶ月間ですが、子どもたちの成長には、目を見張るものがあります。

さて、明日から40日以上休みが続く夏休みは、子どもたちにとってはうれしい休みですが、保護者の皆様にとっては、長くてちょっと大変な休みかもしれません。休み中にもきまりを守り、規則正しい生活ができるように、ご家庭でも話し合ってみてください。そして、2学期が始まる9月3日に全員元気に登校できるように頑張ってください。

◇「あゆみ」を渡しました～「頑張り」をほめてください◇

今日、子どもたち全員に通知表「あゆみ」が渡されました。私は、全員の「あゆみ」を読みました。「あゆみ」には、子どもたち一人一人のよいところや1学期に頑張ったこと、2学期以降頑張りたいことなどを担任が一生懸命に書いています。

子どもさんと一緒に読んでいただき、頑張ったことについてはおおいにほめてください。そして、頑張りたいことについては、夏休みから取り組めるように、休み中の学習や生活の計画に入れるようにするとよいですね。ご家庭で子どもさんと話し合ってください。

☆ 学校ホームページ「漢字問題・計算問題の部屋」☆

～ 家庭でも学習プリントをダウンロード ～

子どもたちが、家庭でも進んで学習できるように、「学校ホームページ」に「漢字問題の部屋」と「計算問題の部屋」を開設しています。家庭でダウンロードして印刷できれば、漢字や計算のプリントをダウンロードすることが出来ます。裏面に詳しい説明を載せています。

夏休みには、各学年から宿題も出ていますが、毎日の課題が終わった後などに10分程度でできるプリントばかりです。そして、漢字は全学年の1年分の漢字をすべて載せているので、2学期以降に学校で実施する漢字検定の問題も事前に学習することができます。

【使用のポイント】

- 過去の学年の漢字検定問題をして、忘れていないかチェック！
- 2学期以降の検定問題を練習しておけば、2学期以降スイスイ！

◇ 災害から身を守る～7月始めの大雨◇

7月始めの大雨の際には、多くのご家庭が土砂災害の被害に遭われたり、洪水の被害を避けるために避難所に移動されたり、本当に心身ともに大変な数日間を過ごされました。また、実際に家屋に被害が及んでしまったご家庭もありました。心からお見舞いを申し上げますとともに、通常の生活に戻られますことをお祈りしております。

今日の終業式では、子どもたちに次の2つの話をしました。

～～～【子どもたちに話した内容】～～～

1 サッカーワールドカップでの日本チームやサポーターのすばらしい行動

私は、すでにいろいろな情報媒体から報道されているように、以下の2つのことで日本という国が、世界に誇れる、素晴らしい国だということを実感しました。

(1) 決勝リーグの1回戦であと一歩力及ばず敗退した日本チームのロッカールームが、きれいに片づけられていて、ロシア語の「ありがとう」というメッセージカードまで置かれていました。夢のベスト8にあと一歩で届かなかった、とても悔しい気持ちを押しさえて、「立つ鳥跡を濁さず。」を実践した日本チームは素晴らしかったと思います。(片づけは選手だけではなくスタッフもしているそうです。)



(2) 2つ目は、試合後の日本サポーターの観覧席のごみ拾いです。一生懸命に応援したサポーターも試合中に散らかっていたゴミや空き缶などをきれいに拾い、ごみ袋に入れてすべて持って帰りました。これは、すべての試合後に実践されていることですが、他の国の人々にとっては、素晴らしいマナーとして広まり、多くの国のサポーターが同じような行動をとるようになってきているそうです。

これら2つの話は、どのような状況の中でも「対戦相手やお世話になった人に対する尊敬と感謝の心を忘れない」ということを実践している素晴らしい行動だと思います。

残念ながら、サッカーの試合結果ではベスト8入りを果たせなかった日本でしたが、このような心の面では金メダルをもらえるような、世界に誇れる国だと思います。

2 災害から身を守るために

大蔵小学校の校区は、山に囲まれて急な斜面にも多くの家が立ち並んでいます。また、学校の前を大蔵川が流れています。普段は、自然に囲まれて環境がとても良いところですが、大雨が降ると様相が一変します。

実際に2週間前の大雨の時には、下の写真のように大蔵川の水は橋のすぐ下まで迫り、もう少しであふれるところまで来ました。また、学校前の道路や河内へ上る県道では、少し低い場所に水がたまって、車のタイヤが見えなくなるほどでした。



【すごい勢いで水が流れていた大蔵川】



【水がたまっていた学校周辺の道路】

このような状況の中で、自分の身を守るためには、どのようなことに気をつければよいのでしょうか。

- (1) 川の水は、急に水かさが増えることがあるので、雨が降った後には決して近づかない。
- (2) 道路がこのような状況になったら、避難することができなくなるので、テレビなどの防災情報を基に早めに避難する。
- (3) 斜面の近くでは、気になる音が聞こえたり、石垣の隙間や斜面などから小石が落ちてきたり、水があふれてきたりしたらすぐに避難する。

今後、先日のような大雨が降らないことを祈るばかりですが、こればかりは分かりません。

夏休み中は、家庭で過ごすことが多いので、いろいろな災害に対する心の準備、物の準備について家族で話し合うことが大切です。

